
令和2年度 第4回岩手県大規模事業評価専門委員会

日 時 令和2年10月22日（木） 9:30～12:00

場 所 エスポワールいわて 3階 特別ホール

次 第

1 開 会

2 挨拶

加藤専門委員長

3 議 事

(1) 大規模施設整備事業の事前評価について<継続審議>

・岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業（釜石市）

(2) 大規模公共事業の事前評価について<諮問審議>

・小屋畑川広域河川改修事業（久慈市）

(3) 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

4 閉 会

岩手県大規模事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
加藤 徹	宮城大学 名誉教授	農業土木 農村計画	専門委員長
狩野 徹	岩手県立大学社会福祉学部 副学長	都市計画 建築計画	副専門委員長 (欠席)
小井田 伸雄	岩手県立大学総合政策学部 教授	経済学	
島田 直明	岩手県立大学総合政策学部 准教授	植生学 環境生態学	
竹内 貴弘	八戸工業大学大学院工学研究科 教授	海洋工学 水工学	(欠席)
松山 梨香子	一般財団法人岩手県建築住宅センター 一級建築士	建築	
八重樫 健太郎	北光監査法人 公認会計士	企業会計	(欠席)
山本 英和	岩手大学理工学部 准教授	地震工学	

(敬称略)

令和2年度第4回大規模事業評価専門委員会
配付資料一覧

- 資料 No. 1 令和2年度大規模事業評価地区 位置図

 - 資料 No. 2 令和2年度大規模事業事前評価 継続審議資料
 - ・第3回専門委員会における審議概要
 - ・岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業 補足説明資料

 - 資料 No. 3 大規模事業評価についての県民意見募集の実施結果

 - 資料 No. 4 答申書（案）

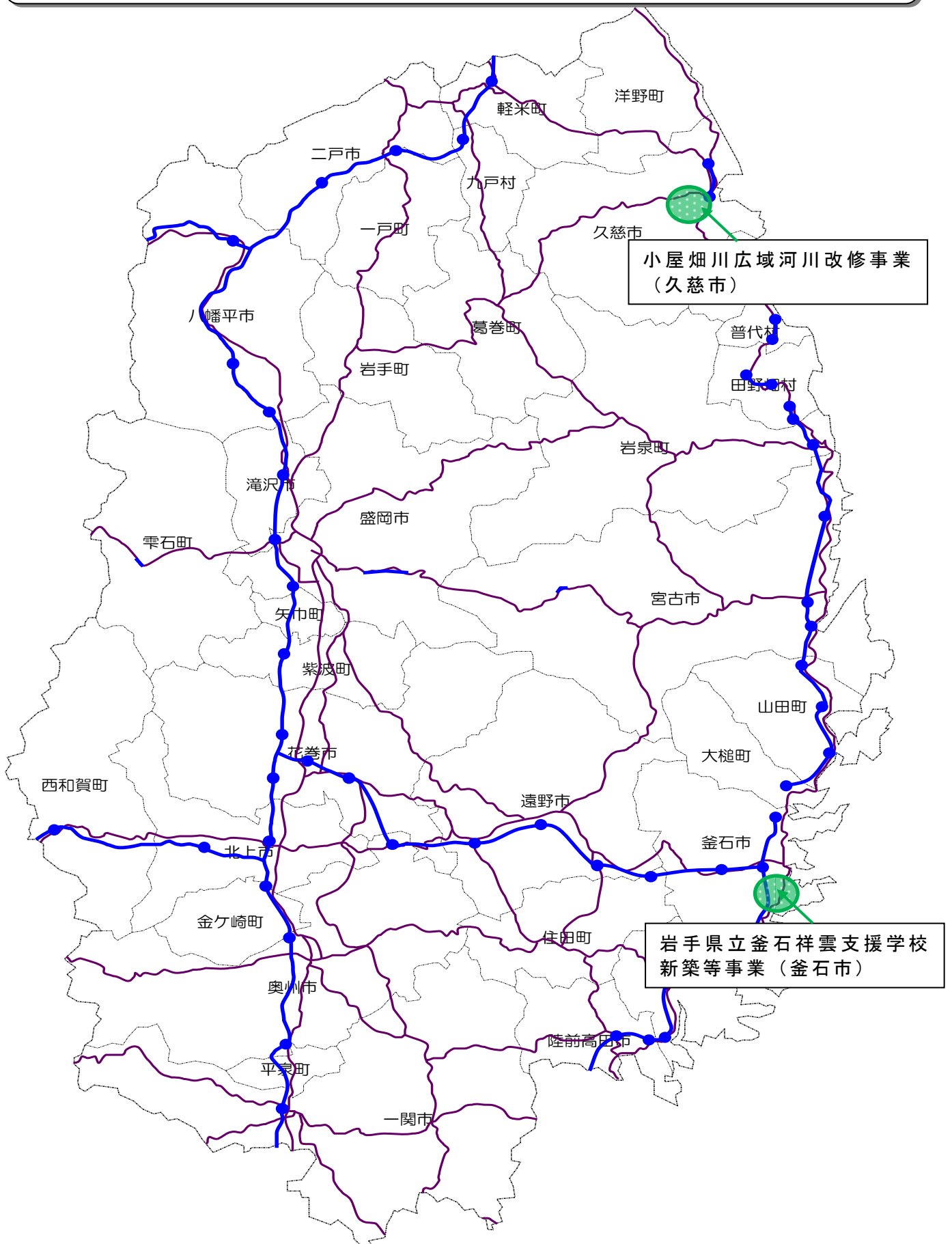
 - 資料 No. 5 令和2年度大規模事業評価諮問書（写）

 - 資料 No. 6 令和2年度大規模事業事前評価関係資料
 - ・小屋畑川広域河川改修事業（久慈市）

 - 資料 No. 7 現地調査行程（案）

 - 資料 No. 8 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について
-
- 参考資料 審議結果報告（案）

令和2年度大規模事業評価地区 位置図



令和 2 年度大規模事業事前評価 継続審議資料

資料	頁
第 3 回専門委員会における審議概要	4
岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業 補足説明資料	5～6

第3回専門委員会における審議概要

- 審議対象
岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業（釜石市）【事前評価】
- 審議状況
諮問審議 令和2年9月14日 第3回大規模事業評価専門委員会
- 主な質疑等の概要及び審議論点

第3回委員会質疑等の概要	
専門委員からの主な質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① 改築整備と改修整備にかかる費用の比較において、現校舎の取り壊し費用や、建設予定地を別の用途に利用した際の収入は考慮されるのか。	（教育企画室） 建設予定地における本事業以外の利用計画はこれまでなく、また、現校舎やその土地の利活用についても今後釜石市と検討することとなっていることから、今回の分析に含めていない。
② 現校舎に通っている児童生徒の通学手段は、校舎の移転後もきちんと確保されるのか。	（教育企画室） 現校舎ではほとんどの児童生徒がスクールバスまたは保護者の送迎により通学しており、移転後もスクールバスによる送迎を行う予定である。ルートやバスのサイズを含め検討している。
③ 建設予定地の希少野生動植物の状況について確認し、適切な対応をお願いしたい。	（教育企画室） 確認の上、次回の委員会で報告する。 ⇒今回報告

岩手県大規模事業評価専門委員会

岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業補足説明資料

補足説明資料：建設予定地における希少野生動植物の状況について

教育委員会事務局教育企画室

建設予定地における希少野生動植物の状況について

1 「釜石地域希少野生動植物調査検討委員会」について

建設予定地の希少野生動植物の状況について、岩手県沿岸広域振興局に設置されている「釜石地域希少野生動植物調査検討委員会（以下「委員会」という。）」での調査を依頼したところ、委員会での調査対象は、沿岸広域振興局、釜石市及び大槌町が実施する公共事業等であり、岩手県教育委員会の事業を委員会内で調査することは出来ないとの回答であった。

2 建設予定地における希少野生動植物の状況について

上記の回答を受け、委員会の中でも地域の希少野生動植物に特に詳しい委員2名（植物、動物・昆虫）から個別に状況を確認することとし、それぞれの委員から聞き取りを行ったところ、建設予定地である旧県立釜石商業高等学校跡地では希少野生動植物の生息は確認されておらず、今後、工事を進めるのに支障はないことを確認した。

3 今後の対応について

今後、希少野生動植物の生息が確認された場合等には、上記委員に対応を相談することとし、生息環境の保護・保全に努めることとする。

また、希少野生動植物の保護・保全に係る基礎知識等について、上記委員からアドバイスを頂きながら、工事施工業者に周知することとする。

大規模事業評価についての県民意見募集の実施結果

1 意見募集の実施状況

(1) 意見募集を行った事業

岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業【事前評価】

(2) 意見の募集期間

令和2年8月31日（月）～同年9月30日（水）

(3) 公表方法

- ◆ 行政情報センター、行政情報サブセンター等への資料配架
- ◆ 県公式ホームページへの資料等掲載
- ◆ 報道機関への発表
- ◆ 県広聴広報課ツイッター
- ◆ 釜石市広報

(4) 意見の募集方法

郵送（持参含む）、ファクシミリ、電子メールによる意見提出

2 意見の提出状況

郵便	ファクシミリ	電子メール	意見提出件数
1	0	0	1

意見検討結果一覧表

（案名：大規模施設整備事業再評価についての意見募集
対象事業：岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業（釜石市））

番号	意見	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	新しい移転先の釜石市平田の標高34m地点が千島海溝・日本海溝を震源とする巨大地震津波で被災しないのか、「大規模施設整備事業事前評価調書（基本設計後）」に一切記載が無く、これはかなり重大な欠陥と成っていると思います。標高は移転後に10m低くなる点も気にかかります。あらためて、津波被災の有無を精査して、事業計画を定めるべきと考えます。	御意見については、大規模災害時における津波による浸水に対する児童生徒の安全性の確保の重要性を指摘するものと認識しています。 建設予定地である、旧県立釜石商業高等学校跡地（釜石市大字平田第6地割1番9）は、東日本大震災津波において浸水していないこと、また、令和2年9月に内閣府が公表した日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会における浸水想定図においても浸水範囲となっていないことから、津波による浸水に対する安全性は確保できると考えています。	C（趣旨同一）

「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分。

区分	内容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）

答 申 書(案)

令和2年 月 日

岩手県教育長
佐 藤 博 様

岩手県政策評価委員会
委員長 加 藤 徹

大規模事業評価について（答申）

令和2年8月25日付け教企第431号で諮問のあった大規模施設整備事業の事前評価について、次のとおり答申します。

記

1 岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業（釜石市）

【審議結果】

「事業実施」とした県の評価は（妥当・妥当ではない）と認められる。（ただし、次の意見を付す。）

例示

- ・「〇〇〇〇」とした県の評価は〇〇と認められる。
- ・「〇〇〇〇」とした県の評価は〇〇と認められる。ただし、次の意見を付す。
 - (1)・・・すること。
 - (2)・・・すること。

など

諮問書（写）



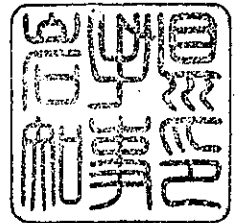
政 第 120 号

令和2年10月16日

岩手県政策評価委員会

委員長 加藤 徹 様

岩手県知事 達 増 拓 也



大規模事業評価について（諮問）

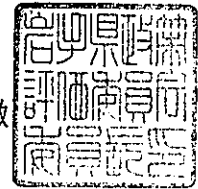
政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）第10条第1項の規定に基づき、別紙の大規模公共事業に係る事前評価について意見を聴きたいので、評価調書を付して諮問します。



令和2年10月16日

岩手県大規模事業評価専門委員会
専門委員長 加藤 徹 様

岩手県政策評価委員会
委員長 加藤 徹



大規模事業評価に係る諮問について

政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）第10条第1項の規定に基づき、別添のとおり岩手県知事から、大規模公共事業に係る事前評価について諮問がありましたので通知します。

(別紙)

大規模公共事業事前評価対象事業

番号	担当部名 担当課名	事業名	市町村名	事業計画			事前評価 の要件
				着手 年度	完了 予定 年度	総事業費 (百万円)	
1	県土整備部 河川課	小屋畑川広域河川改修事業	久慈市	R 3	R 8	7,000	基本設計後

小屋畑川広域河川改修事業（久慈市）

事前評価関係資料

- 1 大規模公共事業 事前評価の概要
- 2 大規模公共事業 事前評価調書 等

大規模公共事業事前評価調書の概要

(小屋畑川広域河川改修事業)

担当部課：県土整備部河川課

- 1 事業概要 (河川名：二級河川久慈川水系小屋畑川、所在市町村：久慈市)
 - 事業目的：二級河川久慈川水系久慈川の1次支川である長内川及び2次支川である小屋畑川は、断面が狭小で流下能力が不足しており、令和元年10月に発生した台風第19号に伴う豪雨により、床上浸水123戸・床下浸水110戸の甚大な浸水被害が発生した。このことから、流下能力が不足している区間の改修を実施し、浸水被害の軽減を図る必要がある。小屋畑川については流下能力が不足している区間の改修及び河道付替えを、長内川については流下能力が不足している橋梁の架替えを実施することにより、家屋浸水被害が発生した令和元年10月の洪水と同等規模の洪水に対応することが可能となる。
 - 事業内容：事業延長：2,250m、河道付替え：950m、河道掘削50,000m³、橋梁工：4橋、樋門：1基
 - 事業期間：令和3年度～令和8年度
(用地着手予定：令和3年度、工事着手予定：令和5年度)
 - 総事業費：7,000百万円
- 2 社会経済情勢等の状況
 - 平成23年3月11日の東日本大震災による津波や、平成28年8月の台風第10号、平成30年6・7月に西日本を中心に発生した集中豪雨及び令和元年10月の台風第19号にみられるように、自然災害により人命や財産が甚大な被害を受けている。このようなことから、着実にハード整備を進めるとともに、ハザードマップの作成や避難路の確保等、ソフト施策の充実等により、流域住民の意識啓発に努め、円滑かつ迅速な避難を促していく必要がある。
 - 当事業区間は、令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨により甚大な浸水被害を受けていることから、地域住民の治水事業に対する関心は非常に高く、地元の久慈市からも小屋畑川の早期改修について県への要望が行われている。現在、久慈川水系の洪水浸水想定区域の指定に向けて作業をしており、今後、久慈市においてハザードマップの作成・更新を進める予定である。
- 3 自然環境等の状況
 - 現在、有識者の助言等を受けながら、環境調査を実施している。
 - 事業の実施に当たっては、振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関協議並びに現地調査を行い、環境に配慮して事業を進める計画としている。
- 4 事業計画の妥当性
 - 費用便益費(B/C)を算定した結果「1.3」である。
 - 治水代替案については、ダム、遊水地、堤防嵩上げ、河道拡幅、河道付替え等の各手法に対し、流域の地形、土地利用状況、社会的・自然的影響、経済性等を総合的に検討した結果、現計画案が適当であると判断した。
- 5 総合評価
 - 社会経済情勢については、本県では、近年の豪雨により各地で甚大な浸水被害が多数発生していることから、早期の治水対策が望まれており、着実に河川整備を実施する必要がある。本地区では、令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨により、甚大な浸水被害を受けていることから地域住民の治水事業に対する関心は非常に高く、地元からも早期改修の要望を受けているため、事業実施が妥当であると判断している。
 - 自然環境等への配慮については、環境への影響が極力少なくなるよう計画を進めることとしている。
 - 事業計画の妥当性については、代替案として考えられる事業手法の総合的な検討の結果、河道付替え案が最も妥当であり、事業に関する指標及び費用便益分析の結果からも、事業効果が確認できること

から、本事業計画は妥当であると判断している。

○以上のことから、本事業の目的を達成するためには、現時点での社会経済情勢等の状況などを検討した結果、本計画のとおりの実業実施が妥当であると判断したものである。

事業名	広域河川改修事業		補助・単独	担当部課名	河川課	
路線名等	にきゅうかせん 二級河川	こやはた がわ 小屋畑川	地区名	おきない 長内	市町村	久慈市
事業概要	〔事業根拠法令等： 河川法第10条 〕					
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 二級河川久慈川水系久慈川の1次支川である長内川及び2次支川である小屋畑川は、断面が狭小で流下能力が不足しており、令和元年10月に発生した台風第19号に伴う豪雨により、床上浸水123戸・床下浸水110戸の甚大な浸水被害が発生した。 このことから、流下能力が不足している区間の改修を実施し、浸水被害の軽減を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 小屋畑川については流下能力が不足している区間の改修及び河道付替えを、長内川については流下能力が不足している橋梁の架替えを実施することにより、家屋浸水被害が発生した令和元年10月の洪水と同等規模の洪水に対応することが可能となる。</p>					
	<p>(2) 事業内容 事業延長：2,250m、河道付替え：950m、河道掘削50,000m³、橋梁工：4橋、樋門：1基</p>					
	<p>(3) 整備目標等 令和元年10月と同等規模の洪水に対応</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間： 令和3年度～令和8年度</p> <p>(用地着手予定年度： 令和3年度、工事着手予定年度： 令和5年度)</p> <p>○総事業費： 7,000百万円</p>					
社会経済情勢等	<p>(1) 全国の状況</p> <p>・平成23年3月11日の東日本大震災による津波や、平成28年8月の台風第10号、平成30年6・7月に西日本を中心に発生した集中豪雨及び令和元年10月の台風第19号にみられるように、自然災害により人命や財産が甚大な被害を受けている。このようなことから、着実にハード整備を進めるとともに、ハザードマップの作成や避難路の確保等、ソフト施策の充実等により、流域住民の意識啓発に努め、円滑かつ迅速な避難を促していく必要がある。</p>					
	<p>(2) 本県内の状況</p> <p>・平成23年3月11日の東日本大震災による津波により、沿岸域で6千名弱の死者・行方不明者など、甚大な被害を被っている。また、近年では、令和元年10月の小屋畑川（久慈市）等、平成28年8月の小本川（岩泉町）及び久慈川（久慈市）等の洪水により各河川沿川で大規模な浸水被害が発生していることから、河川・海岸など防災事業に対する関心度が依然として高まっており、効果的な事業の進捗に努める必要がある。</p> <p>・県では、近年洪水被害が発生した河川等について重点的に整備している。当面の整備目標は、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることとし、段階的整備により治水安全度の向上を図ることとしている。</p> <p>・ハード対策とともにソフト施策として、住民の迅速かつ円滑な避難を促進し尊い人命を守るため、水位計や監視カメラの設置、ホームページや携帯電話による洪水情報の提供、浸水想定区域図の作成、市町村へのハザードマップの作成支援を行っている。</p>					
	<p>(3) 施工地域における状況</p> <p>・当事業区間は、令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨により甚大な浸水被害を受けていることから、地域住民の治水事業に対する関心は非常に高く、地元の久慈市からも小屋畑川の早期改修について県への要望が行われている。</p> <p>・現在、久慈川水系の洪水浸水想定区域の指定に向けて作業しており、今後、久慈市においてハザードマップの作成・更新を進める予定である。</p>					

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 B ・希少野生動植物生息の有無 あり ・埋蔵文化財包蔵地の有無 あり
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 ・現在、有識者の助言等を受けながら、環境調査を実施している。 ・現小屋畑川のうち、河道付替え地点より下流側の区間については、今後有識者からの意見を踏まえ、環境に配慮した構造としていく。 ・事業の実施に当たっては、振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関協議並びに現地調査を行い、環境に配慮して事業を進める計画としている。 ・今後、必要に応じて環境調査を実施し、必要であれば移植等を実施するほか、施工においても、低騒音機械の使用や濁水対策等を実施し、周辺環境への影響が最小限となるように努める。 ≪環境等への配慮に要する費用≫ ・環境調査 (17,000千円)

事業計画の妥当性	(1) 事業費の内容																																																																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">工種等区分</th> <th style="width: 25%;">内訳</th> <th style="width: 15%;">数量</th> <th style="width: 15%;">事業費 (千円)</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">工事費</td> <td>河道付替え</td> <td style="text-align: center;">950 m</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河道掘削</td> <td style="text-align: center;">50,000 m³</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁工</td> <td style="text-align: center;">4 橋</td> <td style="text-align: right;">2,500,000</td> <td>2橋架替え、2橋新設</td> </tr> <tr> <td>樋門</td> <td style="text-align: center;">1 基</td> <td style="text-align: right;">700,000</td> <td>長内川合流点</td> </tr> <tr> <td>測量試験費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1 式</td> <td style="text-align: right;">900,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1 式</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1 式</td> <td style="text-align: right;">900,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,000,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種等区分	内訳	数量	事業費 (千円)	備考	工事費	河道付替え	950 m	1,000,000		河道掘削	50,000 m ³	500,000		橋梁工	4 橋	2,500,000	2橋架替え、2橋新設	樋門	1 基	700,000	長内川合流点	測量試験費		1 式	900,000		用地費		1 式	500,000		補償費		1 式	900,000		合計			7,000,000																																		
	工種等区分	内訳	数量	事業費 (千円)	備考																																																																							
	工事費	河道付替え	950 m	1,000,000																																																																								
		河道掘削	50,000 m ³	500,000																																																																								
		橋梁工	4 橋	2,500,000	2橋架替え、2橋新設																																																																							
		樋門	1 基	700,000	長内川合流点																																																																							
	測量試験費		1 式	900,000																																																																								
	用地費		1 式	500,000																																																																								
	補償費		1 式	900,000																																																																								
合計			7,000,000																																																																									
(2) 事業に関する指標からみた評価																																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価指標</th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 10%;">配点</th> <th style="width: 10%;">評点</th> <th style="width: 50%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">必要性</td> <td>想定氾濫被害額</td> <td style="text-align: center;">30億円以上</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td>5,455百万円</td> </tr> <tr> <td>防護人口</td> <td style="text-align: center;">1,000人以上</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>1,353人</td> </tr> <tr> <td>公共施設・弱者施設</td> <td style="text-align: center;">あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>長内保育園等</td> </tr> <tr> <td>輸送施設</td> <td style="text-align: center;">あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>市道</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重要性</td> <td>総合計画上の位置付け</td> <td style="text-align: center;">「総合計画」の主要な指標の向上に寄与：あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>指標：河川整備率</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">緊急性</td> <td>過去10年間の水害被害実績</td> <td style="text-align: center;">10億円以上</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>1,234百万円</td> </tr> <tr> <td>過去10年間の被災回数</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>H28、R1</td> </tr> <tr> <td>他事業関連の有無</td> <td style="text-align: center;">なし</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流下能力比</td> <td style="text-align: center;">50%未満</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td style="text-align: center;">$1.0 \leq B/C < 2.0$</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">熟度</td> <td>地元の要望</td> <td style="text-align: center;">あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元の協力</td> <td style="text-align: center;">あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">74</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	想定氾濫被害額	30億円以上	15	15	5,455百万円	防護人口	1,000人以上	5	5	1,353人	公共施設・弱者施設	あり	5	5	長内保育園等	輸送施設	あり	5	5	市道	重要性	総合計画上の位置付け	「総合計画」の主要な指標の向上に寄与：あり	5	5	指標：河川整備率	緊急性	過去10年間の水害被害実績	10億円以上	5	5	1,234百万円	過去10年間の被災回数	2回	3	2	H28、R1	他事業関連の有無	なし	5	0		流下能力比	50%未満	2	2	48%	効率性	費用便益比 (B/C)	$1.0 \leq B/C < 2.0$	40	20	1.3	熟度	地元の要望	あり	5	5		地元の協力	あり	5	5		計			100	74	
評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																								
必要性	想定氾濫被害額	30億円以上	15	15	5,455百万円																																																																							
	防護人口	1,000人以上	5	5	1,353人																																																																							
	公共施設・弱者施設	あり	5	5	長内保育園等																																																																							
	輸送施設	あり	5	5	市道																																																																							
重要性	総合計画上の位置付け	「総合計画」の主要な指標の向上に寄与：あり	5	5	指標：河川整備率																																																																							
緊急性	過去10年間の水害被害実績	10億円以上	5	5	1,234百万円																																																																							
	過去10年間の被災回数	2回	3	2	H28、R1																																																																							
	他事業関連の有無	なし	5	0																																																																								
	流下能力比	50%未満	2	2	48%																																																																							
効率性	費用便益比 (B/C)	$1.0 \leq B/C < 2.0$	40	20	1.3																																																																							
熟度	地元の要望	あり	5	5																																																																								
	地元の協力	あり	5	5																																																																								
計			100	74																																																																								

○ 費用便益分析

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル(案) 令和2年4月 国土交通省 (単位:百万円)

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	建設費	5,903	
	維持管理費	594	
	総 費 用 (C)	6,497	
便益項目	被害軽減の便益	8,002	
	残存価値	358	
	総 便 益 (B)	8,360	
費用便益比 (B/C)		1.3	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

事業
計
画
の
妥
当
性

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(3) コスト削減対策の取り組み状況

本事業で発生した土砂を他事業にて活用することにより、残土運搬距離及び残土処理費用のコスト削減に努める。

(4) 代替案の比較検討結果

・代替案として考えられる他の事業手法

ダム、遊水地、堤防嵩上げ、河道拡幅、河道付替え案について検討した結果は以下のとおりであり、流域の地形、土地利用状況、社会的・自然的影響、経済性等を総合的に勘案し、河道付替えによる治水対策が妥当と判断したものである。

○ダム案 : 上流部または流入支川には貯水可能な山地地形が存在せず、ダム建設の適地がないため、ダム建設は不可能である。

○遊水地案 : 河道沿いに適地となる空き地や耕作地がないため、遊水地の建設は不可能である。

○堤防嵩上げ案 : 現況河道は堀込形状のため、氾濫解消を目的とした築堤が必要となる。しかし、河道沿いは人家が連担しており、築堤用地の確保や約100戸の家屋移転が必要になり、社会的な影響が大きいため、実現は困難である。

○河道拡幅案 : 堤防嵩上げ案同様、拡幅範囲には人家が連担しており、河道拡幅用地の確保や約80戸の家屋移転が必要になり、社会的な影響が大きいため、実現は困難である。

○河道付替え案 : 新設区間(開水路)による対策であり、家屋移転数は約10~30戸となるため堤防嵩上げ案、河道拡幅案に比べ移転家屋数を最も抑えることができ、社会的な影響を最小限にすることができる。また、長内川合流部に樋門を設置することで、背水影響が解消される。

(5) 事業規模の妥当性

・整備目標である令和元年10月と同等規模の洪水に対して、代替案として考えられる事業手法の総合的な検討の結果、河道付替え案が最も妥当であり、また、事業に関する指標及び費用便益分析の結果からも事業効果が確認できることから事業規模は妥当であると判断している。

(1) 総合評価

対応方針案	事業実施 ・ 要検討 () ・ その他 ()
-------	--

(広域河川改修事業)

着手年度	完了予定年度	事業費(百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考B/C
R3	R8	7,000	74	1.3

○総合評価に係るコメント

- ・当該地区は、断面が狭小で流下能力が不足していることから、本事業により、小屋畑川については流下能力が不足している区間の改修及び河道付替えを、長内川については流下能力が不足している橋梁の架替えを実施することによって流下能力が向上し、背後地の安全に寄与するものである。
- ・社会経済情勢について、本県は、近年の集中豪雨等により各地で大規模な洪水が発生し、甚大な浸水被害が多数発生していることから、早期の治水対策が望まれており、着実に河川整備を実施する必要がある。本地区では、令和元年10月の台風第19号による豪雨により、甚大な浸水被害が発生しているほか、近年多発している豪雨により、地域住民の治水事業に対する関心は非常に高く、地元からも早期改修の要望を受けている。
- ・自然環境等への配慮について、事業実施に当たっては、振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議及び現地調査を行い、環境に配慮して事業を進めることとする。
- ・事業計画の妥当性については、代替案として考えられる事業手法の総合的な検討の結果、河道付替え案が最も妥当であり、事業に関する指標及び費用便益分析の結果からも、事業効果が確認できることから、本事業計画は妥当であると判断している。
- ・以上のことから、本事業の目的を達成するためには、現時点での社会経済情勢等の状況などを検討した結果、本計画のとおりの実施が妥当であると判断したものである。

大規模公共事業 事前評価調書 (付表)

事業名	広域河川改修事業	補助・単独	担当部課名	河川課
路線名等	にきゅうかせん 二級河川 こやまた がわ 小屋畑川	地区名	ながい 長内	市町村 久慈市

1 現在までの事業に係る経緯等

- 平成28年8月 台風第10号により被災
- 令和元年10月 台風第19号により被災
- 令和元～2年度 高水検討、治水計画検討、利水計画検討、環境調査
- 令和2年度 基本方針、整備計画策定

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

- 久慈市より当該地区の河川改修について要望あり。
(近年の要望状況)
- 久慈市
令和2年7月31日
- 住民
多数の要望あり

3 費用便益分析の詳細 (算定方法、算出根拠等)

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル(案)令和2年4月 国土交通省 (単位:百万円)

区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	建設費	5,903
	維持管理費	594
	総 費 用 (C)	6,497
便益項目	被害軽減の便益	8,002
	残存価値	358
	総 便 益 (B)	8,360
費用便益比 (B/C)	1.3	

①建設費：施設整備に要する費用(河川改修費)を整備期間、評価期間で現在価値化して合計したものである。

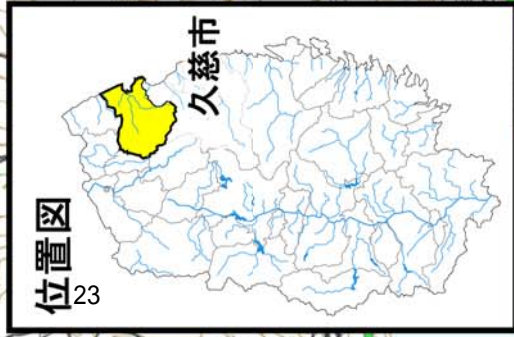
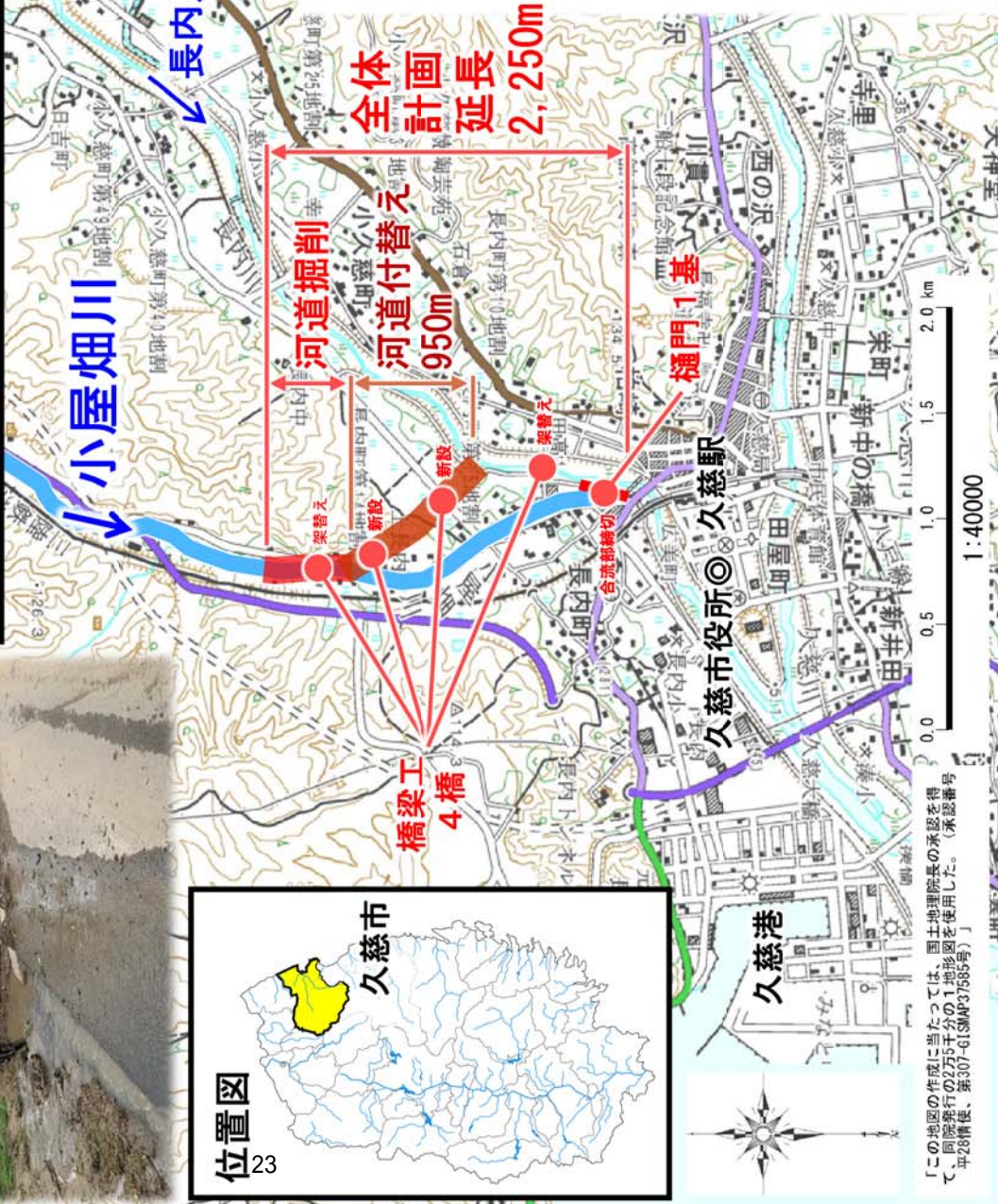
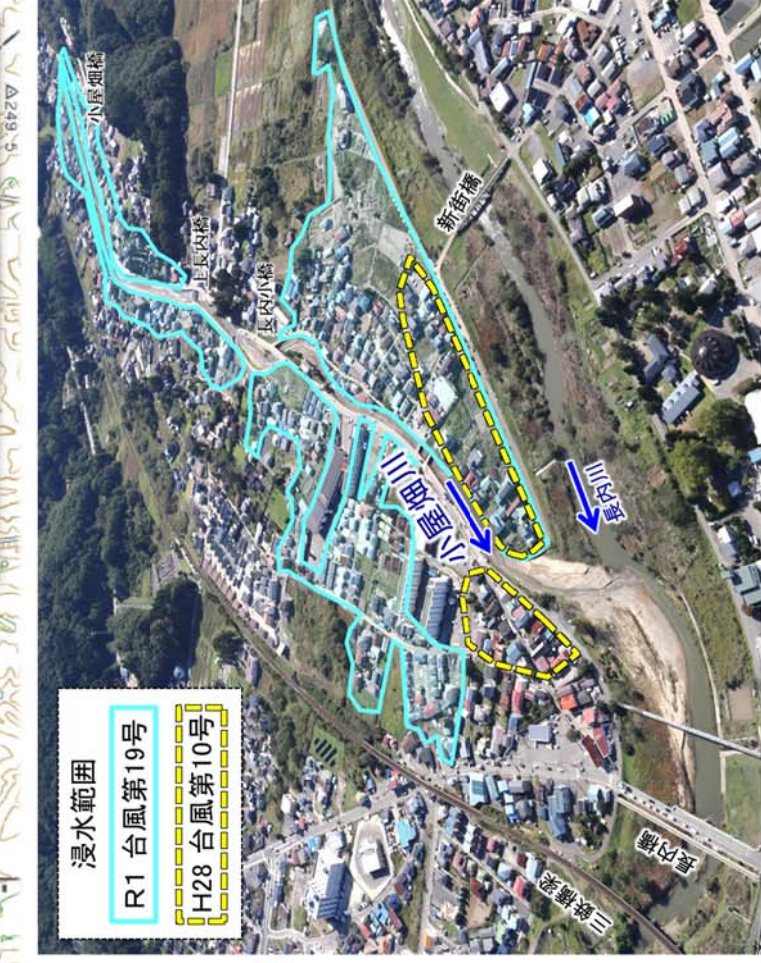
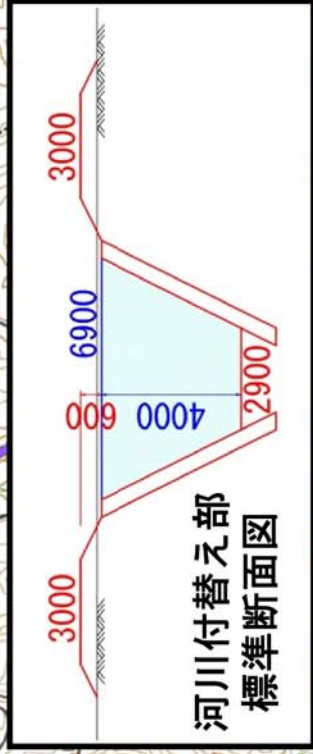
②維持管理費：治水経済調査マニュアル(案)より、事業費の0.5%を維持管理費とする。

④被害軽減の便益：施設整備によって想定される年平均被害軽減額を現在価値化して合計したものである。

⑤残存価値：評価対象期間終了時点における施設等の価値。構造物は価値を10%とし、構造物以外(堤防・用地など)は減価しないものとしている。

おさない
こやはたがわ
広域河川改修事業 二級河川小屋畑川（久慈市 長内） 事業概要

令和元年台風第19号時の状況



「この地区の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平28情使、第307-G(SMAP37685号)」

様式-7 費用対効果 計算書 (令和2年度評価)

水系名: 久慈川水系

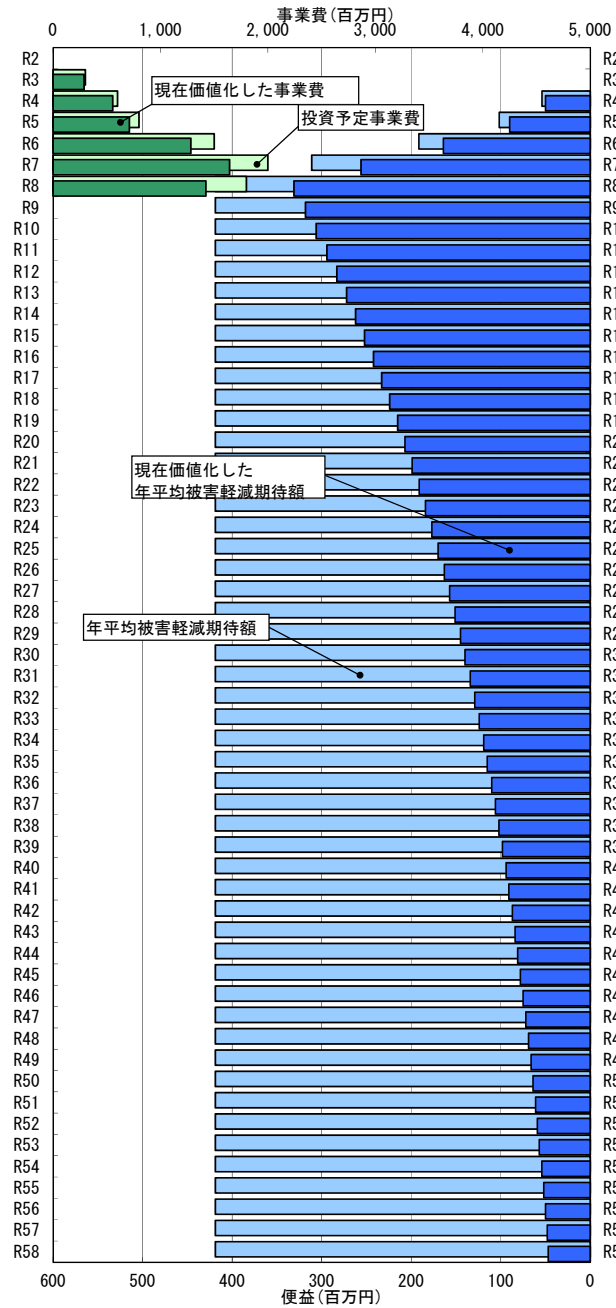
河川名: 小屋畑川

単位: 百万円

年次	年度	t	現在 価値化 の 割引率	便 益 (百万円)					残存価値 ⑤	計 ④+③	
				治水		建設費③		維持管理費④			
				便益	現在価値 ①	事業費	現在価値	費用			現在価値
	R2	0	1.0000	0	0	0	0	0.00	0.0		
	R3	1	0.9615	0	0	300	288	0.00	0.0		
	R4	2	0.9246	54	50	600	555	0.00	0.0		
	R5	3	0.8890	102	90	800	711	0.00	0.0		
	R6	4	0.8548	191	164	1,500	1282	0.00	0.0		
	R7	5	0.8219	311	256	2,000	1644	0.00	0.0		
	R8	6	0.7903	419	331	1,800	1423	0.00	0.0		
	R9	7	0.7599	419	318			35.00	26.6		
	R10	8	0.7307	419	306			35.00	25.6		
	R11	9	0.7026	419	294			35.00	24.6		
	R12	10	0.6756	419	283			35.00	23.6		
	R13	11	0.6496	419	272			35.00	22.7		
	R14	12	0.6246	419	262			35.00	21.9		
	R15	13	0.6006	419	252			35.00	21.0		
	R16	14	0.5775	419	242			35.00	20.2		
	R17	15	0.5553	419	233			35.00	19.4		
	R18	16	0.5339	419	224			35.00	18.7		
	R19	17	0.5134	419	215			35.00	18.0		
	R20	18	0.4936	419	207			35.00	17.3		
	R21	19	0.4746	419	199			35.00	16.6		
	R22	20	0.4564	419	191			35.00	16.0		
	R23	21	0.4388	419	184			35.00	15.4		
	R24	22	0.4220	419	177			35.00	14.8		
	R25	23	0.4057	419	170			35.00	14.2		
	R26	24	0.3901	419	163			35.00	13.7		
	R27	25	0.3751	419	157			35.00	13.1		
	R28	26	0.3607	419	151			35.00	12.6		
	R29	27	0.3468	419	145			35.00	12.1		
	R30	28	0.3335	419	140			35.00	11.7		
	R31	29	0.3207	419	134			35.00	11.2		
	R32	30	0.3083	419	129			35.00	10.8		
	R33	31	0.2965	419	124			35.00	10.4		
	R34	32	0.2851	419	119			35.00	10.0		
	R35	33	0.2741	419	115			35.00	9.6		
	R36	34	0.2636	419	110			35.00	9.2		
	R37	35	0.2534	419	106			35.00	8.9		
	R38	36	0.2437	419	102			35.00	8.5		
	R39	37	0.2343	419	98			35.00	8.2		
	R40	38	0.2253	419	94			35.00	7.9		
	R41	39	0.2166	419	91			35.00	7.6		
	R42	40	0.2083	419	87			35.00	7.3		
	R43	41	0.2003	419	84			35.00	7.0		
	R44	42	0.1926	419	81			35.00	6.7		
	R45	43	0.1852	419	78			35.00	6.5		
	R46	44	0.1780	419	75			35.00	6.2		
	R47	45	0.1712	419	72			35.00	6.0		
	R48	46	0.1646	419	69			35.00	5.8		
	R49	47	0.1583	419	66			35.00	5.5		
	R50	48	0.1522	419	64			35.00	5.3		
	R51	49	0.1463	419	61			35.00	5.1		
	R52	50	0.1407	419	59			35.00	4.9		
	R53	51	0.1353	419	57			35.00	4.7		
	R54	52	0.1301	419	54			35.00	4.6		
	R55	53	0.1251	419	52			35.00	4.4		
	R56	54	0.1203	419	50			35.00	4.2		
	R57	55	0.1157	419	48			35.00	4.0		
	R58	56	0.1112	419	47			35.00	3.9		
合計					8,002	7,000	5,903	1,750	594	358	6,497

年平均被害軽減期待値	419	建設費	5,903
年便益の総和	8,002	維持管理費	594
残存価値	358		
築堤・掘削	278		
護岸等構造物	24		
用地費	56		
総便益B	8,360	(年便益+残存価値)	
総費用C	6,497	(建設費+維持管理費)	
B/C	1.3		

注) ・毎年の維持管理費は、河川分の事業費の 0.5% とした。



令和2年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案1)

- 開催日: 令和2年11月9日(月)
- 対象事業
小屋畑川広域河川改修事業(久慈市)

※審議+現地調査

○行程

		0:05		0:50		1:40	
始		移動時間	着	移動時間	着	移動時間	着
		0:15	9:00	2:10	11:15	0:10	12:15
	県庁		盛岡駅		久慈市		久慈市
	玄関前		マリオス1階玄関前		昼食		審議
	出発						県北広域振興局
発	8:45		発		発		発
			9:05		12:05		13:55

		0:40		0:05			
移動時間	着	移動時間	着	移動時間	着		
0:10	14:05	2:10	16:55	0:15	17:15		
	久慈市		盛岡駅		県庁		
	現地調査		マリオス1階玄関前		玄関前		
	小屋畑川				帰庁		
発	14:45		終		終		
			17:00				

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和2年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案2)

- 開催日: 令和2年11月9日(月)
- 対象事業
小屋畑川広域河川改修事業(久慈市)

※現地調査のみ

○行程

		移動時間		0:05		移動時間		0:50		移動時間		0:40	
始		着	9:40	着	11:55	着	12:55	移動時間		着	12:55	移動時間	
県庁		盛岡駅		久慈市		久慈市		移動時間		久慈市		移動時間	
玄関前		マリオス1階玄関前		昼食		現地調査		移動時間		現地調査		移動時間	
出発								移動時間				移動時間	
発	9:25	発	9:45	発	12:45	発	13:35	移動時間		移動時間		移動時間	

		移動時間		0:05		移動時間		0:15	
着	15:45	着	16:05	移動時間		移動時間		移動時間	
盛岡駅		県庁		移動時間		移動時間		移動時間	
マリオス1階玄関前		玄関前		移動時間		移動時間		移動時間	
		帰庁		移動時間		移動時間		移動時間	
終	15:50	終		移動時間		移動時間		移動時間	

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

1 事後評価実施計画の策定に関する規定について

・公共事業評価実施要領 抜粋

第4 各部長は、毎年度、政策企画部長が定める日までに、当該年度の翌年度から起算して3年度目に事後評価の対象として見込まれる事業を政策企画部長に報告するものとする。

2 政策企画部長は、前項による各部長からの報告に基づき、条例第9条の規定により設置する岩手県政策評価委員会（以下「委員会」という。）の意見を聴いたうえで、翌年度以降3年度間における当該計画を策定する。

・大規模事業評価実施要領

同上

・事後評価の対象

事業名	評価の対象（実施要領第2第2項）
道路事業	事業完了後概ね3年を経過したもの
農業農村整備事業	事業完了後概ね5年を経過したもの
その他の事業（道路事業、農業農村整備事業及び水産基盤整備事業以外の事業）	事業完了後概ね3年から5年を経過したもの
水産基盤整備事業	事業完了後概ね3年から6年を経過したもの
大規模施設整備事業	事業完了後概ね5年を経過したもの

2 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

今年度においては、令和3年度から令和5年度までの3年度分の計画を策定することとし（別紙1の年次計画を参照）、各部局に対象事業を照会のうえ、以下の方針により計画案を別紙2のとおり作成した。

(1) 公共事業事後評価実施計画

【令和3年度及び令和4年度】

- ・ 昨年度策定した当該年度分の計画と同一とする。

【令和5年度】

- ・ 事業実施地区の多い道路事業及び農業農村整備事業について、いずれの事業にも評価対象に公共事業が該当したことから、当該事業を選定。
- ・ その他事業については、年度ごとの完了地区数が少ないため、令和4年度に3年度分（平成5年度から7年度まで）をまとめて選定する予定。

(2) 大規模事業事後評価実施計画

【令和3年度及び令和4年度】

- ・ 昨年度策定した当該年度分の計画と同一とする。

【令和5年度】

- ・ 道路事業及び農業農村整備事業については該当なし。
- ・ その他事業については、年度ごとの完了地区数が少ないため、令和4年度に3年度分（令和5年度から7年度まで）をまとめて選定する予定。
- ・ 大規模施設整備事業について、対象となる事業が3事業あるが、委員会での十分な説明時間を確保するため、そのうち1事業を令和6年度とする。

公共事業事後評価候補地区の選定方針一覧表

事業名	選定方針
農業農村整備事業	<p>本事業の中には、様々な性格の事業があることから、次のように事業分類し、事業分類別に①再評価、②事前評価、③総事業費の優先順位で地区を選定。</p> <p>1 ほ場整備事業（各年度2地区）、2 農業水利事業（各年度1地区）、3 農道整備事業（2年度1地区）、4 中山間事業（2年度1地区）、5 土地総事業（2年度1地区）、6 防災事業（2年度1地区）</p> <p>※ カッコ内の事業分類別選定地区数は、今後予定されている事業費シェアにより算出している。今後は「ほ場整備事業」が非常に多く、次いで「農業水利事業」、「農道整備事業」という順で予定されている。</p> <p>規模の大きい地区（総事業費50億円以上）及び小さい地区（総事業費1億円未満）は除外。</p>
治山事業	過去に事前評価を実施しており、完了後概ね3年を経過した地区のうち、総事業費の大きい5地区を選定。
林道事業	事前評価又は再評価を実施した地区かつ事業完了後概ね3～5年を経過した地区を選定。
水産基盤整備事業	以下の順に5地区を選定。 ①漁港関係、漁場関係、漁村関係事業別の完了年の古い順、②過去に事前評価を実施した地区、③事業費の大きい地区
道路事業 (道路建設)	以下の順に5地区を選定。 ①事後評価を実施していない事業（予定も含む）、②過去に事前評価を実施した地区、③過去に再評価を実施した地区、④総事業費の大きい地区
道路事業 (道路環境)	<ul style="list-style-type: none"> 道路環境課においては様々な道路事業を所管していることから、事業ごとに事前評価を実施した地区を選定。 事前評価を実施した地区が複数ある道路事業においては、総事業費の大きい地区を選定。
河川事業	過去に事前評価又は再評価を実施した地区並びに総事業費の上位3箇所を選定。
海岸事業	過去に事前評価又は再評価を実施した地区並びに総事業費の上位3箇所を選定。
砂防事業	事前評価を実施した箇所で、完了後概ね5年を経過した砂防事業及び急傾斜地崩壊対策事業から、事業費の大きい箇所を1箇所ずつ選定。
都市計画事業	事業完了地区のうち、交通量等が多い地区で都市内の課題である渋滞等が顕著であった地区を選定。
下水道事業	事業完了後概ね5年を経過した地区を選定。
公営住宅建設	本事業の中には、建替事業と改善事業の2つの性格の事業がある。対象となる事業について、建替事業から1か所、改善事業から2か所該当する事業を選定。
港湾事業	事業完了後概ね5年を経過した地区を選定。

公共事業事後評価実施計画 (案)

事後評価実施年度	事業の種類	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費(千円)	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考
R 3	経営体育成基盤整備事業	経営体育成基盤整備事業	白山	奥州市	区画整理 275.0ha 排水路 3,756m 暗渠排水 159.6ha	3,717,664	H12	H27	-	H22	意欲と能力のある経営体の育成に向け、営農の効率化と低コスト生産を促進するため、区画整理や農業用排水施設、農道等の必要な基盤整備を行う。
	道路事業(道路環境)	地域連携道整備事業(市町村道代行整備)	宮古市道北部環状線	宮古市山口	道路改築L=1,842.3m 橋梁L=170.7m トンネルL=318.0m	4,700,000	H23	H28	H22	-	地域医療の支援や、冬期間の安全で円滑な道路通行を確保するため、医療機関へのアクセスが向上し、道路除雪に必要な耐雪幅を確保した道路整備を行ったもの。
	公営住宅建設事業	公営住宅建設事業	盛岡市	松園アパート	個別改善工事 4棟96戸	727,593	H23	H29	H22	-	実施内容:個別改善(居住性向上、福祉対応型、安全性確保型、長寿命化型)
R 4	農業農村整備事業	かんがい排水事業	鹿妻新堰	盛岡市	水路工 5,097m	970,096	H22	H29	H21	-	持続的な農業生産の確保に向け、農業用水の確保や水利用の安定化・合理化を図るため、基幹的な農業用排水施設を整備する。
	林道事業	林道整備事業	八戸・川内	岩泉町	林道改良 L=1,678m	1,207,567	H23	H30	H22	-	青森県八戸市と宮古市川内を結ぶ2車線全線舗装の林道。法面の経年劣化が激しいことから交通の安全を確保したものの。
	砂防事業	通常砂防事業	馬淵川水系	馬淵の沢	砂防えん堤 1基 渓流保全工 1式	350,000	H22	H28	H21	-	本溪流は沿岸侵食が進行し、土石流の危険性が高いことから、砂防施設を整備したものの。
R 5	農業農村整備事業	畑地帯総合整備事業	東奥中山地区	一戸町	畑かん施設 415ha 排水路 5,710m 農道 3,379m 環境保全施設 1式	2,189,254	H14	H30	H13	H27	地域の特性を活かした園芸産地の確立を図るため、畑地かんがい施設、農道や暗渠排水等を一体的に整備する。
	道路事業(道路環境)	道路環境改善事業(交通安全施設整備)	一般県道藤沢	一関市藤沢町保呂羽	歩道設置L=1,500m	272,981	H23	R1	H22	-	通学中の児童等の安全を確保するため、通学路指定箇所の歩道整備を行ったもの。

大規模事業事後評価実施計画 (案)

事後評価実施年度	事業の種類	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費(千円)	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考
R 3	都市計画事業	広域公園整備事業	盛岡市幸石町	御所湖広域公園	公園広場等 311.6ha	10,941,000	S55	H27	-	H25	盛岡地方生活圏におけるレクリエーション需要に応えるとともに、自然的・歴史的環境や住民の生活環境の保全機能、防災機能を果たし、地域振興を図る
R 4	道路事業(道路建設)	地域連携道道路整備事業(ネットワーク形成型)	一般国道106号	宮古西道路	道路改築 L=3,400m	21,700,000	H15	H30	H14	H29	宮古西道路は宮古市内の交通混雑の緩和、事前通行規制区間を回避するとともに、三陸沿岸地域の高速交通体系の形成を目的とするもの
R 5	【施設整備】	岩手県立盛岡となん支援学校整備事業		矢巾町	校舎棟: 7,500.00㎡ 寄宿舎棟: 1,735.00㎡	3,835,000	H27	H29	H26	-	盛岡となん支援学校は、県内唯一の肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校であり、県内における当該児童生徒への教育や自立支援の拠点としての役割を果たすとともに、県立教育センターと一体的に整備することにより、医療・福祉・教育の連携体制を構築し、安全・安心な教育環境を整備する
	【施設整備】	岩手県立療育センター整備事業		矢巾町	延床面積 12,643.31㎡ ・障がい児支援棟 10,076.36㎡ ・障がい者支援棟 2,566.95㎡	7,202,809	H27	H29	H26	-	本県の障がい児療育拠点・社会リハビリテーション拠点としての役割を果たし、医療・福祉・教育が一体となったサービスを提供するとともに、県内の障がい児・者及びその家族に対して、福祉施設、医療機関等が連携して支援するための機能・体制を強化する

※参考

(R6予定)	【施設整備】	高森高原風力発電所		二戸郡一戸町	・定格出力: 25,300kW(2,300kW x 11基) ・売電電力量:約5,264万kWh/年(一般家庭約15,700世帯分) ・制御方式:出力変動緩和制御型風力	12,437,830	H25	H29	H24	-	岩手県が自ら率先して再生可能エネルギー導入の取組を進めることにより、県内の再生可能エネルギーによる電力自給率の向上と温室効果ガス削減に貢献し、更には、地域社会の発展や県民福祉の向上を図るため、地方公営企業として電気事業を運営してきた企業局の知見を活かした大規模風力発電事業を実施するもの
--------	--------	-----------	--	--------	---	------------	-----	-----	-----	---	---

公共事業事後評価実施計画策定の年次計画について（大規模公共事業分を含む）

	事後評価実施計画の計画年度																		
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
評価実施地区の選定状況	← 選定済み				/	← 選定済み										← 一部選定済み		← 今回の見直し・選定対象	

事業ごとの選定状況

事業名	選定の頻度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	今回見直し		今回選定	
																R3	R4	R5
道路事業（道路建設）	毎年度選定 (R2年度はR5年度分を選定)	■	大■	大■	/	大■		■		大■		■		大■		大■		
道路事業（道路環境）		■	■	■	/		■		■		■		■			■		■
農業農村整備事業		■	■	大■	/			大■	大■2	大■	大■	■	■	■	大■	■	■	■
河川事業	3年度ごとに選定 (3年分の候補地区の中から選定)	大■			/	大■		大■			■			■				
砂防事業				■	/			■			■						■	
海岸事業				大■	/	大■	大■											
港湾事業					/	大■■					■			大■				
都市計画事業		■			/		■						■			大■		
公営住宅建設事業			■		/		■		■							■		
林道事業				■	/		■						■				■	
治山事業		■			/		■		■						■			
水産基盤整備事業					/	■								■				
空港事業					/						大■							
下水道事業					/													
合計			6地区	4地区	6地区	/	6地区	7地区	5地区	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区程度

※道路事業については、2010年度まで「道路建設」「道路環境」をそれぞれ毎年度実施していたが、震災対応等を考慮し、2012年度から当面は交互に実施することとしているもの。

※選定にあたっては、大規模事業を優先することとし、大規模事業事後評価を実施する事業については、原則、同年度内に同種の公共事業の事後評価を実施しないこととする（大規模事業と公共事業の地区をプロジェクト構成事業としてまとめて事後評価する場合を除く）。

大規模施設及び公共事業事後評価候補地区一覧表（令和5年度分）

別紙4

農業農村整備事業

令和5年度候補地区（一般公共事業）					対象地区数（全体）	5 地区					農村建設課
対象地区の案	No.	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費（千円）	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考 〔県の重点施策との関連、事業目的など〕
	1	経営体育成基盤整備事業	天下田地区	花巻市	区画整理 30.2ha 暗渠排水 28.2ha	484,992	H24	H30	H23	-	意欲と能力のある経営体の育成に向け、営農の効率化と低コスト生産を促進するため、区画整理や農業用排水施設、農道等の必要な基盤整備を行う。
◎	2	畑地帯総合整備事業	東奥中山地区	一戸町	畑かん施設 415ha 排水路 5,710m 農道 3,379m 環境保全施設 1式	2,189,254	H14	H30	H13	H27	地域の特性を活かした園芸産地の確立を図るため、畑地かんがい施設、農道や暗渠排水等を一体的に整備する。
	3	基幹農道整備事業	手代森地区	盛岡市	基幹農道 3,604m	1,846,190	H2	H30	-	-	農業地帯及び集出荷等施設を環状的に結ぶ基幹農道を整備し、農産物や農業用資材等の輸送体系を確立するとともに、市場への流通の迅速化を図り、農業経営の合理化と農村環境の改善に資する。
○	4	中山間地域総合整備事業	広田地区	陸前高田市	区画整理 26.5ha 暗渠排水 26.4ha	1,364,005	H21	H30	H20	-	快適で住み良い農村生活環境づくりに向け、農業生産条件が不利な中山間地域の活性化を図るため、農業生産基盤や農村生活環境基盤を総合的に整備する。
	5	農村地域防災減災事業	大堤地区	奥州市	ため池改修 1式	193,654	H24	H30	H23	-	農地・農業用施設等の災害を防止するため、老朽化したため池、取水施設又は幹線用排水路の補強や改修を行う。

対象地区として選定した理由

1 事業完了後概ね5年経過した地区（H30完了地区）から、上記選定方針に基づき候補地区を選定。
 ① ほ場整備事業（各年度2地区）：天下田地区（対象1地区のみ） ② 農業水利事業（各年度1地区）：東奥中山地区
 ③ 農道事業（2年度1地区）：手代森地区 ④ 中山間事業（2年度1地区）：広田地区
 ⑤ 土地総事業（2年度1地区）：H30完了地区なし ⑥ 防災事業（2年度1地区）：大堤地区

2 候補5地区のうち、再評価を実施している「畑地帯総合整備事業東奥中山地区」を第1候補とし、事前評価を実施しかつ事業費が大きい「中山間地域総合整備事業広田地区」を第2候補としたもの。

道路事業（道路環境）

令和5年度候補地区（一般公共事業）					対象地区数（全体）	4 地区					道路環境課
対象地区の案	No.	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費（千円）	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考 〔県の重点施策との関連、事業目的など〕
◎	1	道路環境改善事業（交通安全施設整備）	一般県道 藤沢大籠線	一関市藤沢町保呂羽	歩道設置L=1500m	272,981	H23	R1	H22	-	通学中の児童等の安全を確保するため、通学路指定箇所の歩道整備を行ったもの。
○	2	道路環境改善事業（交通安全施設整備）	主要地方道 岩泉平井賀普代線	田野畑村切牛	歩道設置L=1000m	175,184	H26	R1	H25	-	通学中の児童等の安全を確保するため、通学路指定箇所の歩道整備を行ったもの。
	3	道路環境改善事業（交通安全施設整備）	一般県道 日詰停車場線	紫波町日詰	歩道設置L=300m	97,530	H28	R1	H27	-	通学中の児童等の安全を確保するため、通学路指定箇所の歩道整備を行ったもの。

対象地区として選定した理由

通学路の安全確保を図った事業であり、完成後の整備効果及び住民意見を把握したい地区の内、事業費が大きい地区を選定。

大規模施設整備事業

令和5年度候補地区（大規模施設整備事業）					対象地区数（全体）	1 地区					障がい保健福祉課
対象地区の案	No.	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費（千円）	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考 〔県の重点施策との関連、事業目的など〕
◎	1	岩手県立療育センター整備事業	-	矢巾町	延床面積 12,643.31㎡ 障がい児支援棟 10,076.36㎡ 障がい者支援棟 2,566.95㎡	7,202,809	H27	H29	H26	-	本県の障がい児療育拠点・社会リハビリテーション拠点としての役割を果たし、医療・福祉・教育が一体となったサービスを提供するとともに、県内の障がい児・者及びその家族に対して、福祉施設、医療機関等が連携して支援するための機能・体制を強化する。

令和5年度候補地区（大規模施設整備事業）					対象地区数（全体）	1 地区					教育委員会教育企画室
対象地区の案	No.	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費（千円）	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考 〔県の重点施策との関連、事業目的など〕
◎	1	岩手県立盛岡となん支援学校整備事業	-	矢巾町	校舎棟：7,500.00㎡ 寄宿舎棟：1,735.00㎡	3,835,000	H27	H29	H26	-	盛岡となん支援学校は、県内唯一の肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校であり、県内における当該児童生徒への教育や自立支援の拠点としての役割を果たすと同時に、県立療育センターと一体的に整備することにより、医療・福祉・教育の連携体制を構築し、安全・安心な教育環境を整備する。

令和5年度候補地区（大規模施設整備事業）					対象地区数（全体）	1 地区					企業局業務課
対象地区の案	No.	事業名	路線名等	箇所名	主な事業内容	総事業費（千円）	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度	備考 〔県の重点施策との関連、事業目的など〕
◎	1	高森高原風力発電所	-	二戸郡一戸町	・定格出力：25,300kW(2,300kW×11基) ・発電電力量：約5,264万kWh/年（一般家庭約15,700世帯分） ・制御方式：出力変動緩和制御型風力	12,437,830	H25	H29	H24	-	岩手県が自ら率先して再生可能エネルギー導入の取組を進めることにより、県内の再生可能エネルギーによる電力自給率の向上や温室効果ガス削減に貢献し、更には、地域社会の発展や県民福祉の向上を図るため、地方公営企業として電気事業を運営してきた企業局の知見を活かした大規模風力発電事業を実施する。

◎：第1候補 ○：第2候補

審議結果報告(案)

令和2年 月 日

岩手県政策評価委員会

委員長 加藤 徹 様

岩手県大規模事業評価専門委員会

専門委員長 加藤 徹

大規模事業評価に係る答申について

令和2年8月25日付けで諮問の通知のありました大規模公共事業の再評価について、令和2年〇月〇日開催の第〇回大規模事業評価専門委員会において、すべての調査審議を終了し、次のとおり決定しましたので報告します。

記

1 岩手県立釜石祥雲支援学校新築等事業（釜石市）

【審議結果】

「事業実施」とした県の評価は（妥当・妥当ではない）と認められる。（ただし、次の意見を付す。）

例示

- ・「〇〇〇〇」とした県の評価は〇〇と認められる。
- ・「〇〇〇〇」とした県の評価は〇〇と認められる。ただし、次の意見を付す。
 - (1)・・・すること。
 - (2)・・・すること。

など